

〔入院診療計画書〕

傷病名：(左・右・両)大腿骨頸部骨折

症 状：

治療法：**観血的整復固定術**

西・東病棟 階 A・B

号室 氏名

様

経過	入院当日( / )	入院2日～ 日	手術前日( / )	手術当日( / )	手術後1～3日	術後 日～退院日( / )
目 標	手術に対する理解ができ、疼痛がコントロールされ手術に臨むことができる。			手術を予定通り受けられ、手術後の痛みを訴えることができ対処できる。	傷の痛みを訴えることができコントロールできる。 車椅子で移動できる。	手術後おおよそ3～10日で退院・転院できる。
検 査	血液検査・レントゲン検査等 必要に応じて行います。 	必要に応じて血液検査をします。 		手術後レントゲン検査、  血液検査をします。	血液検査をします。	必要に応じて血液検査をすることがあります。
治療・処置	必要時、足の先に重りを付け引っ張ります。 尿管を入れます。 	排便の確認をします。 必要時には浣腸を使用します。		手術後、足の先の重りを外します。	傷の消毒をします。  尿管を抜きます。	2日に一度、傷の消毒をします。
内 服	必要な内服は継続します。 			必要な薬のみ内服します。	内服を再開します。 	
注 射	疼痛時は痛み止めの注射を使用します。			24時間点滴を行い、必要時には輸血を行います。  抗生剤の点滴を行います。 疼痛時は痛み止めを使用します。		抗生剤の点滴を行います。
食 事	食事が食べられます。 	就寝後から食事を食べたり、飲んだりできません。 		手術後、お腹の動く音を確認したら水分が摂れます。  その後、食事を開始します。 		
安 静 度	手術前はベッドの上で安静に過ごします。 			術後5～6時間は絶対安静になります。 ベッド上で足を挙上します。 看護師が体の向きを変えます。		車椅子で移動できます。 
清 潔			毎日体を拭きます。			
説明・指導	主治医より病状、手術の説明を行います。 看護師より入院説明を行いません。	医師・看護師より手術説明を行いません。 麻酔科医が病室に診察に伺います。		手術後、主治医より手術の結果と今後について説明があります。		退院・転院後についての説明があります。 

特別な栄養管理の必要性 有・無

在宅復帰支援計画 無・有( )

総合的な機能評価 無・有( )

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わる事があります。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。

年 月 日 岩手医科大学附属病院 岩手県高度救命救急センター

主治医 氏名： \_\_\_\_\_

担当以外の担当者： \_\_\_\_\_

在宅復帰支援担当者： \_\_\_\_\_

本人・家族 氏名： \_\_\_\_\_